

2 ごみはどれくらい出るの？

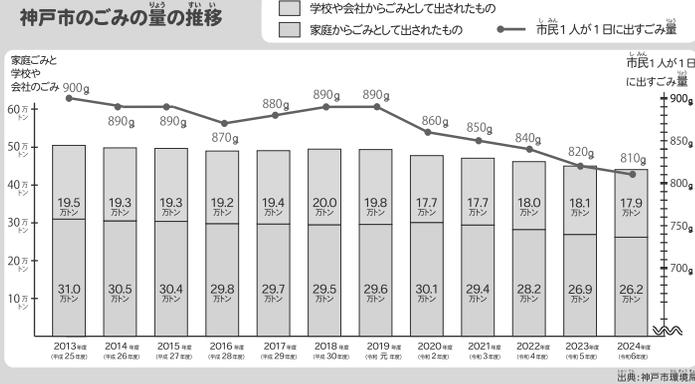


市民1人が1日に
出すごみの量

神戸市全体で1日に出るごみの量は、約1,210t(トン)で、パッカー車605台分です。神戸市民1人が1日に出すごみの量は約810gです。
※1t(トン)=1,000kg

パッカー車(2t)
605台分

神戸市のごみの量の推移



市民1人が1日に出すごみの量が
少しずつ減ってきているっぴ。

ごみの分別とか、みんなの意識が高まっているんやな！
みんなはこのグラフを見て、どんなことに気づいたんやろ？



毎日の生活から出るごみは、缶・びん・ペットボトルの分別収集や指定袋制度、大型ごみの有料化などの取り組みを行うことで、ごみの減量・資源化についてみんなが関心をもつようになり、ごみの量が少しずつ減ってきています。

これから、さらにごみを減らすには、どんなことができるでしょう。

ごみ処理にかかる市民1人あたりのお金(1年間)



2024年度
(令和6年度)
1人あたり
約13,000円



4人家族だと…
約52,000円

神戸市全体では年間約194億円。
1日あたりすると約5,300万円になります。

ごみを集め、燃やし、
うめ立てるためには、た
くさんのお金が必要です。

考えてみよう！

どんなものがごみ
として出されている
のかな？



メモ

神戸市のごみ

私たちは、便利で豊かな生活を営むために、たくさんの買い物をしています。新しいものを買うたびに、いらなくなったものを次々に捨てています。このようなライフスタイルにより、ごみは増え続けていきました。

「燃えるごみ」「荒ごみ」の2分別だったものを6分別にしたり指定袋制度を導入することにより、ごみの量は減少してきています。

ごみの増加は、処理費用の増加につながります。また、処理の際に発生する二酸化炭素などは、地球温暖化の原因となります。



ポイント

ごみはさらに努力・工夫すれば、まだまだ減らすことができると考えられます。本冊子の学習をきっかけに、どんな工夫をすればごみをさらに減らせるのか、児童が生活の中で興味をもち、考え、気づきにつながるように、役立ててください。



ポイント

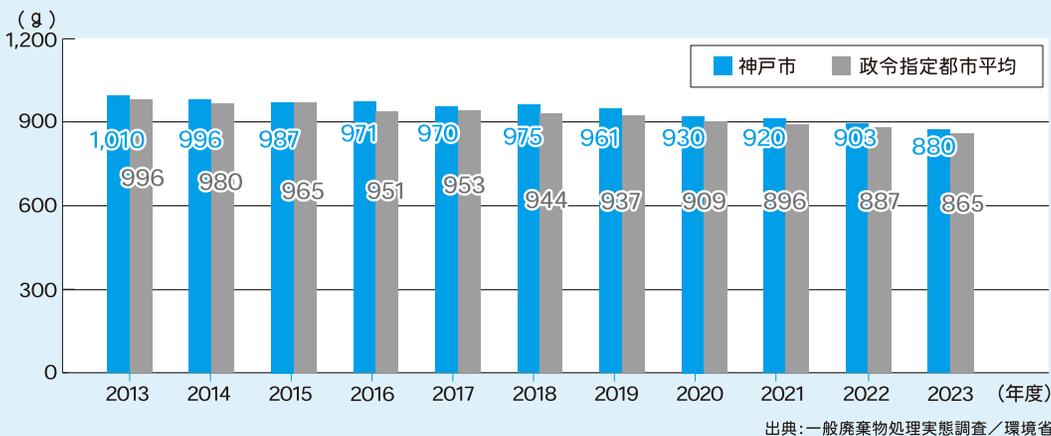
1人が1日に出すごみの量

ごみの処理に1年間にかかるお金は、1人あたり約13,000円、4人家族だと約52,000円になります。ごみを集めたり、燃やしたり、埋め立てたりするのに必要なお金です。

ごみを処理するには、お金がかかる、ということに児童が気づき、ごみを減らすということを考えるきっかけにしましょう。

1人1日あたりのごみ排出量の「政令指定都市平均」と「神戸市」の比較

※集団回収分を含むごみの量



お役立ちサイト

神戸市ウェブサイト内に、環境教育の授業やじぶん学習などに活用できる資料を集めたページをご用意しています。データなどの資料も掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

神戸市 環境教育

検索

<https://www.city.kobe.lg.jp/a36643/kurashi/recycle/education/learn-environmental.html>